

(下)最低気温
丸囲みは降水確率
白又キは50%以上
は正午の風向き
矢印なしは無風

下に掲載

だい やす
本店:平安神宮東 0120-45-7172
https://www.daiyasu.co.jp/ だいやす 検索

毎日 2021.2.20 (土)

◇過去の車内放置死事件の判決◇

発生時期・場所	被害者	被告	罪名	求刑(懲役)	1審判決
09年8月 秋田県由利本荘市	11カ月男児	母親	保護責任者遺棄致死	5年	2年6月
11年7月 石川県輪島市	1歳女児	父親 母親	保護責任者遺棄致死 保護責任者遺棄致死	4年6月 4年6月	4年 4年
12年8月 三重県桑名市	5カ月男児	母親	保護責任者遺棄致死	5年	3年 (執行猶予5年)
16年4月 大阪市	1歳男児	母の内縁の夫 母親	保護責任者遺棄致死など 保護責任者遺棄致死など	9年 6年	6年6月 5年
17年5月 山口県防府市	2カ月女児	母親	保護責任者遺棄致死	6年	4年

高松市で6歳と3歳の娘を車内に約15時間放置して死亡させたとして、保護責任者遺棄致死罪に問われた竹内麻理亜被告(27)の裁判員裁判で、高松地裁(近道暁郎裁判長)は

2児放置死判決

「周囲の支え必要」

専門家、社会の意識転換訴え

19日、求刑通り懲役6年の実刑判決を言い渡した。公判や判決を受け、専門家らは周囲のサポートや社会の意識転換の必要性を訴える。

児童虐待事件に詳しい山梨県立大学の西澤哲教授(臨床福祉学、臨床心理学)は「親からの愛情が少ないことは酒や異性への依存を生む要因の一つとなる。被告が自分自身の生い立ちについて振り返り、子どもを放置することに至った心理状態を理解することが大切。今後、周囲のサポートや精神的な治療が必要だろう」と語った。

また、危機管理や児童福祉行政に詳しい日

本大学の鈴木秀洋准教授は「被告は誰よりも子どもを愛していた。虫歯が一本もないことや事件当日も遊び疲れて寝入った子どもの姿を確認し、子育てに全力的な母だった。断罪されるべきはあるべき母親像を押し付け、ヘルプを出させない教育と社会なのではないか。私たちが意識転換を行わなければこうした事件は続く」としている。

【喜田奈那、川原聖史】